

### 設立初年度の活動を振り返って

22年9月からスタートした神代地域運営体も、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげを持ちまして、各支援部で計画した初期の目標を達成することができました。その中で、上限500万円の交付金を地域の活性化にどのように還元していくべきかが大きな課題でありましたが、有償除雪ボランティア隊による一人暮らしの高齢者を中心とした除雪活動、小集落のシンボルとしてアピール出来る案内看板の設置及び冬がっこコンクールや山の芋創作料理コンクールの実施などは、将来の神代に活力を与える礎になったことは、成果として受け止めるところであります。

また、若者会が組織化され、23年度から運営体に参画することとなった事実は初年度の特筆に値する出来事でありました。これまで短期間の活動でありましたが、23年度は「若い力」を大いに活かしながら、着実なる前途を図って参りたいと考えますので、何卒ご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

神代地域運営体会長 細川俊雄

発行機関 神代地域運営体  
発行責任者 古郡朝男  
神代字野中清水 292-1  
TEL 44-2112

## =山の芋創作料理コンクール= ”ほの香大福”が最優秀に

産業振興支援部が企画した事業も、地域の皆様のご協力をいただき、山の芋を活用した「山の芋創作料理」コンクールも無事終わることができました。本企画は、新たな一品を運営体のお土産商品として売り出してみたい思いから開催しましたところ、14名の方々から35点の出品がありました。審査は、包和会、JA、秋田魁新報社、市職員の代表4名で見た目、味付け、食感、商品化など5項目にわたって採点していただいた結果、最優秀賞には藤川清子さん（熊野林）の「ほの香大福」が、優秀賞に藤川良子さん（中関）の「揚げだんご」、藤田百合子さん（熊野林）の「辰子の初恋」、伊藤トモ子（本町）の「山の芋せんべいクッキー」がそれぞれ選ばれました。



最優秀賞の「ほの香大福」

23年度は、これまでの取り組みを振り返り、農家の方々とは共同作業を通して「神代の味の商品化」をめざした積極的な活動を展開して参りたいと考えております。

今後ともご支援ご協力の程お願いいたします。

「産業振興支援部から」



山の芋創作料理 審査風景

### あいさつ運動

神代の子供たちは、挨拶がたいへん良くなります。「おはようございます」「こんにちは」「ごころうさま」と声をかけてきます。挨拶は、人を和やかにします。

地域のみなさん、子供たちから声を掛けられましたら、応えてやって下さい。子供たちも楽しい一日を過ごせることと思います。

### 平成23年度の総会について

- ◎ 日 時 平成23年4月9日（土） 午後1時30分～
- ◎ 会 場 仙北市就業改善センター
- ◎ 案 件 平成22年度事業報告並びに収支決算について・監査報告  
平成23年度事業計画並びに収支予算について・役員を選任について

## 平成22年度を振り返って 各支援部会から [福祉支援部]

地域運営体発足後、当支援部会が最初に取り組んだのが、除雪ボランティア隊の結成、そして活動まで進めることでした。

神代出張所の協力のもと、1月には除雪ボランティア隊の結成、認定書の交付、そして除雪作業の無事を願い、安全祈願のうえ高齢者や一人暮らしの家庭を対象に活動を開始しました。



約3ヶ月の間、多くの家庭からの要望に応えるべく対応して参りましたが、活動に対して次のような課題がありました。

※除雪範囲の徹底（玄関から道路までが原則。

以外は無償ボランティア）

※積雪（15cm降雪）の確認による除雪作業。

※作業時間及び単価。設定の見直し。

※除雪作業は1日1回（特別な場合を除き）とし、機械作業が不適な場所は手作業とする。等々考慮した上で今後は対応したい。

以上のような小さな事ですが来年はこれらを改善しながら実施に向

けて進めたいと思います。